

## Getinge グローバルポリシー

# 人権方針

ドキュメントオーナー

アンナ・ロンバーグ

バージョン

v3

取締役会にて採択される

2023 年 4 月 26 日

## 1. 概要

本方針は、当社の人権に関する考え方を確立することを目的としています。世界人権宣言、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」、国際労働機関「労働における基本的原則および権利に関する宣言」に基づいています。

ゲティンゲでは、人権を尊重し、すべての人が尊厳と尊敬をもって扱われるべきであると考えています。私たちは、事業、業務、サプライチェーン、そして私たちが活動する地域社会における人権侵害を特定し、緩和し、防止することに尽力しています。

この人権方針は、ゲティンゲを代表して行動するすべての従業員とビジネス関係者に適用されません。

## 2. 範囲と目的

このグローバルポリシーは、すべてのゲティンゲ社、その子会社および共同事業（共同で「ゲティンゲ」）に対して有効であり、当社のすべての従業員および取締役、ならびにゲティンゲの敷地内またはゲティンゲの指示の下で働くコンサルタントおよび代理店職員（このグローバルポリシーではすべて「社員」と呼ぶ）に適用します。

このポリシーは、人権を尊重するゲティンゲのコミットメントの概要を、当社の従業員に提供するものです。その目的は、ゲティンゲのあらゆるレベルの従業員が、当社の価値観、規則、期待に沿った行動をとることを支援し、可能にすることにあります。

私たちは、すべての従業員がこのポリシーに従い、ビジネスを行う際に一貫してその高い基準を適用することを期待しています。

## 3. プリンシプル

### コミットメントと期待

ゲティンゲでは、すべての人権の保護が最優先事項です。私たちの事業活動は、多様性と包摂、結社の自由、安全で安心な職場の確保という原則に導かれています。私たちは、事業が従業員、

サプライヤー、販売業者、顧客、地域社会に与える人権への影響を日常的に特定し、評価し、管理しています。

私たちは、影響力のある立場を活かして、人権に関する取り組みを推進・支援するよう努めます。

私たちのビジネスとオペレーションは、次のような価値観に導かれています：

**ダイバーシティとインクルージョン。** 当社の「ダイバーシティ指令」は、多様で包括的な職場環境に対する当社のコミットメントを明確にしたものです。

**結社の自由。** 私たちは、従業員が労働組合に代表されることを選択することを尊重します。私たちは、適用される国または地域の法律に従って、これらの労働組合と誠実に協力します。

**安心・安全な職場です。** 私たちは、事故や怪我、健康リスクへの曝露のリスクを最小限に抑えることで、安全で生産性の高い職場を維持することに専念しています。私たちは、内外の脅威による暴力、ハラスメント、脅迫、その他の危険な状態のない職場を維持します。

## 4. 苦情処理メカニズム

遠慮せずに悩みを打ち明けてください。本ポリシーの違反が疑われるゲティンゲ社の社員は、ラインマネージャー、人事部、倫理・コンプライアンスオフィス、またはゲティンゲ・スピークアップ・ラインに問題を報告し、提起することが期待されます。

すべてのステークホルダーは、Getinge Speak-Up Line を利用することで、潜在的および実際の人権への悪影響に関する質問や懸念を提起する機会があります。

スピークアップ・ラインは、Getinge の社内外のウェブページで利用できます。ゲティンゲでは、懸念や意見を表明して発言した人に対する報復は、いかなる形でも認めません。

私たちは、苦情処理メカニズムを確立し、あらゆる懸念を調査することを約束し、深刻な人権への悪影響を発見した場合は、遅滞なく適切に対処します。

## 5. 役割と責任

ゲティンゲの全社員は、本ポリシーを読み、理解し、遵守する責任を個別に負っています。各従業員は、本ポリシーに則って行動する責任を負います。ゲティンゲのマネージャーは、各チームメンバーがこのポリシーにアクセスできるようにする責任があります。

ゲティンゲの各事業部門/販売地域は、人権と本ポリシーの原則に違反する活動を防止する責任があります。

人権に関する定期的な情報提供や研修、コンプライアンスのフォローアップなど、日常的な強化は、倫理・コンプライアンス室のサポートのもと、各マネージャーの責任で行っています。

本ポリシーに違反した場合、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

## 6. グローバルポリシーに反する行為 – Speak Up

遠慮せずに悩みを打ち明けてください。このグローバルポリシーの違反が疑われるゲティンゲの社員は、ラインマネージャー、倫理・コンプライアンスオフィス、またはゲティンゲ・スピークアップ・ラインを利用して、問題を提起することが期待されます。Getinge Speak Up Line は、Getinge の社内外のウェブページで利用できます。ゲティンゲでは、懸念や意見を表明した人に対するいかなる報復も認めません。

さらに見るグローバルスピークアップと報復禁止指令

## 7. フレームワーク

このポリシーは、ゲティンゲのガバナンスフレームワークの一部であり、以下のようなものがあります：

- 行動規範、戦略的枠組み、取締役会が承認した方針、CEO または CEO の直属の部下が承認した指令、および現地での指示。
- CEO が承認した「権限の委譲」に基づき、CEO が行った決定、またはその他の決定
- 倫理・コンプライアンス室は、本ポリシーの最新版を公開し、GetBasics 上で全従業員が利用できるようにする責任を負います。
- 本ポリシーは、隔年または必要に応じて見直されます。
- 本ポリシーの原語は英語です。

## 8. ガイダンスとアシスト

このポリシーについて質問がある場合、またはどのルールが適用されるか不明な場合は、最寄りの人事部までご連絡いただくか、[DERAS-HR@Getinge.com](mailto:DERAS-HR@Getinge.com) までメールでお問い合わせください。

便利なリンク集です：

- 行動規範
- ピープルポリシー
- サステナビリティ方針
- ダイバーシティ指令